

長岡市長賞

税金は世のため人のため

長岡市立川口中学校

三年 覺張 誠

約三年前の十月一日に消費税が八%から十%に引き上げられました。このことについて多くの人が生活に少し支障がでて嫌だなと感じたと思います。自分もそのうちの一人でした。ですが、これには訳があり、そうせざるを得なかったのです。近年課題となっている少子高齢化問題が関わっています。高齢者は増えるのに対して、働く若手の人が減っているため、税金は前と変わらず必要なのにそれを稼いでくれる人たちは年々減ってきているため一人当たりの負担を少しでも増やさないと以前のように経済が回らなくなってしまいうのです。自分が物心ついたころには消費税は八%でしたが、二〇一四年三月三十一日までは五%なのを知り、もうその頃から少子高齢化は進んでいたのかと予想できました。そんな税金ですが、安全を守ってくれる警察や消防などはすべて税金でまかなわれているので、そう思うと税金を払うことはいたしかたないことだと思えました。税金は消費税に限らず、自動車税や所得税、固定資産税など様々な種類があります。そんな税金の使いみちについて調べてみると、先程書いた警察や消防の他に、子供の医療費や教育費、道路整備、公共施設の整備、

公務員の給料などにあてられていることが分かりました。また雪国では、除雪費等に使われていることも分かりました。自分はアレルギーの薬をもらうためによく近くの診療所へ行っていました。その時いつもかかるお金が五三〇円しかかからないことに疑問を抱いていました。ですが、今回調べてみてそれが税金のおかげだということを知りました。それ以外にも学校の授業料や教材もすべて税金でまかなわれていることも初めて知りました。そう思うと、教科書を大事にしなきゃダメだな、真面目に授業を受けないとだなと改めて思いました。

自分も、いずれ大人になれば税金を払わなければならない時がきます。その時は、嫌な顔一つせず「次は自分が恩返しをする番だ」と思って納税したいと思いました。